

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月26日

番号	定量的指標の定義及び算定式 下水道による雨水幹線整備率を68.1%（R5当初）から100.0%（R5末）に増加 都市浸水対策により整備する雨水幹線の整備進捗率 雨水幹線整備進捗率（%）＝（幹線整備延長（m））／（幹線総延長（m））	計画の成果目標（定量的指標）		
		定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R5当初	中間目標値	最終目標値 R5末
1		68%	%	100%

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R05	R06	R07	R08	R09		
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠（雨水）	新設	下地排水区（浸水対策）	雨水管 工事L=446m	豊橋市	■					45	—	
	A07-002	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	ポンプ場	改築	有楽ポンプ場他（雨水） (地震対策)	設計、耐震補強工事	豊橋市	■					63	—	
		総合地震																	
													小計					108	
													合計					108	
													合計					108	

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
豊橋市上下水道局（局長、次長、経営課、下水道施設課、下水道整備課）で実施	令和7年10月
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市街地における雨水整備により、浸水の無い安全安心な市民生活の確保が図られている。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地における雨水整備を引き続き行い、浸水のない安全安心な市民生活の確保を図る。</li> <li>・施設の耐震対策を引き続き適切に実施し、災害に強い施設を目指す。</li> </ul>	

### ○目標値の達成状況

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
	雨水幹線整備率の向上		
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	

(参考図面)

